

《入選》

大切な友だち

稲枝東小学校 3年

白石 彩 さん

わたしは、友だちといっしょにいて、うれしいなと感じる時がたくさんあります。

一つ目は、校外学習でのことです。おべん当を食べる時に、友だちが、

「いっしょに食べよう。」
と言ってくれました。その時わたしは、うれしい気持ちになりました。なぜかという、一人で食べてもあまりおいしくないと思うからです。今は、大きな声で、話しながら食べるのはむずかしいけれど、友だちとわになって食べるだけでも楽しいのだなと思います。やっぱり、友だちと食べるおべん当は、おいしくて、友だちっていいなと

思いました。

二つ目は、かかり活動の時のことです。かかり活動で、何をしようか考える時に、友だちは意見をたくさん出してくれます。いろいろな意見が出るので、わたしも時どきちがう意見も言ったりします。そんな時に、「だめだよ。」と言ったりせずに、話をよく聞いてくれます。そんな時に、自分とはちがう意見でもしつかり話を聞けてすごいなと思います。わたしなら、友だちの話をしっかりと聞けるかなと思いました。

三つ目は、図工の時間のことです。わたしは、絵をかくのがとても大好きです。わたしのかいた絵をほめてくれた友だちがいました。わたしのよいところを見つけてくれて、うれしい気持ちになりました。わたしも友だちのよいところを見つけて、つたえていきたいと思いました。

四つ目は、国語の時間のことです。文章がうまくかけず、こまっていた時に、友だちが教えてくれました。おかげで、わかるようになってすっきりしました。こまっていた友だちに声をかけることができるのっていいなと思いました。

このように、わたしは学校生活の中で、友だちがいてくれてうれしいなと思うことがよくあります。わたしは自分から友だちに声をかけたり、友だちに教えたりするのが、が手なのでなかなか話しかけることができません。でも、自分から声をかけることができるように少しずつがんばっていきたいです。そして、いろんな友だちとなかよくなれるように、友だちのいいところを見つけてつたえていきたいです。